2020年（令和2年）

定時社員総会・理事会

第11期

2019年 4 月1日～2020年 3 月 31 日

日　時：2020年5月31日（日）

会　場：産経新聞社大阪本社1階

一般社団法人日本ドラゴンボート協会

2020年（令和2年） 一般社団法人日本ドラゴンボート協会

定時社員総会・理事会

〇日 時　2020年5月31日（日）　午後2時から

〇場 所　産経新聞社大阪本社1階（大阪市浪速区湊町 2-1-57）

※法人法により便宜上の総会は、下記承認事項の確認作業として、JDBA理事長、副理事長、事務局長の4名で行います。

※新型コロナの影響で理事会、総会を開催することが出来ない為、**JDBA の定款及び法人法96条**により理事会は理事全員の承認を得て**「みなし理事会」**とし、「総会」は**「議決権の書面決議」**として、関連資料をご郵送し、社員の半数の承認を得られ場合は、すべての議案を成立といたします。

☆総会資料について承認69人（理事20人、終身会員12人、A，B団体チーム37）

※総数は91票（理事20、終身12、AB団体チーム59）で過半数の承認。

〇第 1 号議案

・2019年度事業報告、2019年度登録チーム報告

〇第2号議案

・2019年度決算報告（承認事項）

〇第 3 号議案

・2019年会計監査、業務監査報告（中村監査）

・ 正味財産増減計算書との調整表（壇税理士）

・財務諸表（壇税理士）

〇第 4 号議案

・2020年度予算（承認事項）

〇第 5 号議案

・2019年日本国際ドラゴンボート選手権収支明細

〇第 6 号議案

・2020年度事業計画・日程

〇第 7 号議案

・各専門委員会2019年報告と2020年度方針（各専門委員会委員長より）

・2021年第15回IDBF世界ドラゴンボート選手権大会について（競技委員長より）

【第1号議案1】　　2019 年度事業報告　　（資料）

2019 年 4 月 1 日～2019 年3月末まで

国内

日時	大会名	名義
4/29(日)	いさドラゴンカップ2019(鹿児島県・伊佐市)	後援
5/6(日)	第 7 回宇治川源平龍舟祭(京都・宇治市) オープン1位 bp、市内1位コロコロジャパン	協力
5/19(日)	東京ドラゴンボート大会 2019(東京春海橋公園)第 14 回 ADBF アジアドラゴンボート選手権大会予選会 オープン1位 bp、混合 1 位東京龍舟、シニア1位GG、女子1位東京龍舟プラチナ、 スモール1位 TOKYO DRAGON SECOND	主管
6/16(日)	第 9 回堺泉北港ドラゴンボート大会(大阪高石市)オープン1位陸ペーロンチーム、混合1位すいすい丸トレインビギナー1位大阪～千葉～大	主管
7/14(日)	2019 日本国際ドラゴンボート選手権大会(大阪・天満橋)オープン:1 位磯風漕友会、混合:1 位東京龍舟、シニア:1 位東京龍舟マスターズ、女子:1 位 SUPER DOLPHIN、スモール1位 TOKYO DRAGON SECOND	主催
8/4(日)	第 11 回九頭龍ドラゴンボート大会(福井・中角町)　1 位 SION	主管
8/17(土)	第14 回びわ湖ドラゴンキッズ選手権大会(滋賀県・大津市)	後援
9/1(日)	第 15 回KIX国際交流ドラゴンボート大会(大阪・関空エアポート)　オープン 1 位 HONG KONG NATIONAL TEAM 、混合 1 位関西龍舟、スモール 1 位潜水艦うんりゅう	主催
9/23(祝)	第 43 回びわ湖ドラゴンボート 1000m 選手権大会、第 9 回グランドシニア大会(滋賀県・大津市)	後援
9/22(日)	第 7 回スモールドラゴンボート日本選手権(滋賀・ボートレースびわこ)選手権:オープン 選手権 1 位磯風韋駄天、選手権混合 1 位漕遊人、選手権女子1位東京龍舟プラチナ、普及オープン1位潜水艦うんりゅう、国際チャレンジ 1 位漕遊人	共催

【第1号議案2】　　2019年度JDBA 団体登録チーム(順不動)

A団体登録チーム:10 チーム(昨年 7 チーム 2年前 7 チーム、3年前7チーム、4年前6チーム、5年前8チーム)

① 関西龍舟シンバ(兵庫) 混合	② 東京龍舟(東京) 混合	③ すいすい丸(京都) 混合
④ bp(大阪) ｵｰﾌﾟﾝ	⑤ 東京龍舟マスターズ(東京) ｼﾆｱ	⑥ Bon GG(東京) ｼﾆｱ
⑦ GG(東京)	⑧ TOKYO DRAGON(東京) small	⑨ 津奈木海龍(熊本) small
⑩ Umihi(東京) small	⑪	⑫

B団体登録チーム:40 チーム(1年前 51、2 年前 54、3 年前 40、4 年前 53、5 年前 40、6 年前 43、7 年前 50)

① 打艇龍舟倶楽部(大阪)	② 関空飛龍(大阪)	③ 関西龍舟ﾊﾞｰﾊﾞﾘｱﾝｽﾞ(兵庫)
④ チーム未来(大阪)	⑤ team いっとこ(大阪)	⑥ チーム風(大阪)
⑦ IHI 瑞龍丸(東京)	⑧ 香里ケ高校 5 期生(大阪)	⑨
⑩ 近畿車両電龍(大阪)	⑪ ﾀﾞｲﾅﾏｲﾂと仲間たち(東京)	⑫ 吹田龍舟倶楽部(大阪)
⑬ Drahaaan!うみひ☆どらんちゅ(静岡)	⑭ チーム☆ニライカナイ(東京)	⑮ 東京龍舟ﾌﾟﾗﾁﾅ(東京)
⑯ TOKYO DRAGONSECON 東京	⑰ 磯風漕友会(兵庫)	⑱ TEAM河童(大阪)
⑲ EAGLE MKT(東京)	⑳ ROA's(埼玉)	21 ヤンググリーン(兵庫)
22 タイタムエックスドラゴンズ(東京)	23 ボン・オヤージ(東京)	24 サーフだったベイザーズ(東京)
25 池の里 LAKERS！(滋賀)	26 東海龍舟(愛知)	27 すきやねん大阪(大阪)
28 坊勢酔龍会(兵庫)	29 坊勢 ALL BEERS(兵庫)	30 IHI 相生(兵庫)
31 INO-G(埼玉)	32 琵琶湖ﾄﾞﾗｺﾞﾝﾎﾞｰﾄｸﾗﾌﾞ(滋賀)	33 SUPER DOLPHIN(兵庫)
34 大阪産業大学常翔喜龍(大阪)	35 TEAM BANANA(兵庫)	
36 しげる(鳥取) :small	37 Rowing Team 浪わ(奈良) :small	38 小寺製作所(滋賀) :small
39 セピア(兵庫) small	40 Spirits Club(滋賀) :small	41 伊佐龍人(鹿児島) :small

都道府県協会登録 11 団体

① 沖縄県ドラゴンボート協会	② 東京都ドラゴンボート協会	③ 千葉県ドラゴンボート協会
④ 静岡ドラゴンボート協会	⑤ 愛知県ドラゴンボート協会	⑥ 福井県・九頭龍ﾄﾞﾗｺﾞﾝﾎﾞｰﾄ協会
⑦ 滋賀県ドラゴンボートI協会	⑧ 京都府ドラゴンボート協会	⑨ 和歌山県ドラゴンボート協会
⑩ 大阪府ドラゴンボート協会	⑪ 兵庫県ドラゴンボート協会	※福島県協会は一昨年閉鎖

年度別　都道府県別A･B団体登録チーム加盟数

県名	2019 年度 49チーム	2018 年度 58 チーム	2017 年度 61 チーム	2016 年度 47 チーム	201 年度 60	2014 年度 48	2013 年 度 52	2012 年 度 58
福島県	0	0	0	0	0	1	0	0
埼玉県	2	2	3	1	2	1	0	1
千葉県	0	0	0	1	3	1	1	1
東京都	14	16	17	12	16	10	14	14
神奈川	0	4	4	2	5	4	1	3
静岡県	1	1	2	2	1	0	1	1
愛知県	1	1	1	1	1	1	1	2
京都府	1	1	1	1	1	1	1	1
滋賀県	4	5	4	2	2	2	3	2
大阪府	12	18	16	16	20	20	22	23
兵庫県	10	7	9	9	9	7	6	8
和歌山	0	0	0	0	0	0	1	2
奈良県	1	1	1	0	0	0	0	0
鳥取県	1	1	1	0	0	0	0	0
熊本県	1	0	1	0	0	0	1	0
鹿児島	1							
沖縄県	0	1	0	0	0	0	0	0

【第２号議案】　　決算報告　　事務局

2019年度　一般社団法人日本ドラゴンボート協会決算報告

（2019年4月1日～2020年3月末まで）

¥19，867，528（総収入）－¥18，980，392（総支出）＋￥2，031，145（2018年度繰越金）＝¥2，918，281（2019年度通帳残金）

1．収入の部（税込）

収入項目	2019 年度予算	2019 年度決算	増　減	内　訳
1.　会費・登録料	1,000,000	1,052,000	＋	個人、団体登録料
2．検定料	200,000	265,500	－	ﾊﾟﾄﾞﾙ検定
3．主管料	1,00,000	1,300,000	＋	日本選手権、堺泉北、ｽﾓｰﾙ選手権、東京大会
4．JDBA　HP　広告料	200,000	1,680,000	－	JDBA のHPへのサンスポバナー広告料
5．寄付金	0	0		チーム・役員
6、日本選手権ﾄﾞｰﾋﾟﾝｸﾞくじ助成	1,000,000	0	－	ドーピング助成金はなくなり、実費一括分担金支払
7、日本選手権運営基金助成金	2,000,000	3,740,000	0	日本スポーツ振興センターより基金大会助成金 P16 に明細記載
8、日本選手権大会参加料・協賛金	7,200,000	7,982,571	－	P16 に明細記載
9、通帳間移動①	3,000,000	1,877,071	－	JDBA 助成通帳より戻金
10,通帳間移動②	2,000,000	1,960,000	＋	JDBA 本体通帳より借入
11,通帳間移動③（ドーピング通帳）	1,000,000	0	＋	19 年度よりなし
12 通帳間移動④	0	0	＋	
13、借入金（谷事務総長より）	1,000,000	0	＋	JDBA　谷事務総長より借入
14,雑収入	30	10,386	＋	利息、帽子売り上げ
小　計	19,600,030	19,867,528-		
前年度繰越金	2,031,145	2,031,145		
合　計	21,631,175	21,898,673-		

2. 支出の部（税込）

支出項目	2019 年度予算	2019 年度決算	増　減	内　訳
1. 会費	250,000	150,648	＋	IDBF、水上安全協会会費ほか
2.　宿泊・交通費 国内旅費 海外旅費	200,000	221,875	＋	役員国内交通費 役員宿泊費
3. 事務所費	950,000	1,074,660	－	HP管理費、税務会計処理費、税金等
4　通信費・郵券 通信費 郵券	40,000	17,835	＋	海外送金 振込手数料
5. 会場借上げ	55,000	0	－	総会を産経に変更の為
6. 消耗品・補修費	50,000	16,183	＋	ドラゴン修理費
7. 会議費・打合せ費	30,000	10,215	－	海外役員打合
8. 地方協会分配金	580,000	614,850	＋	東京、大阪、滋賀協会
9. ﾊｲｽﾋﾟｰﾄﾞｶﾒﾗ返済	0	0		2017 年7月で終了
10ドラゴン 5 隻保管料	810,000	817,500	0	大阪・南港にカバー付きで保管
11選手強化費	50,000	314,048	－	世界選手権
12立替金返金①	990,000	0	＋	JDBA 口座立替金返済（谷事務局長より）
13ドーピング検査費・立替金	1,000,000	0	－	本年度より分担金に変更
14立替金返済②	2,000,000	1,960,000	＋	日本選手権口座立替金返済（JDBA 口座より）
15日本選手権大会経費（内訳は P15）	14,500,000	13,682,577	＋	※P16 に詳細を記載
16予備費	26,157	0	0	
17海外大会役員派遣費用	100,000	100,000	＋	世界選手権役員派遣 2 人（菖蒲、森永）
合計	21,631,175	18, 980, 392	＋	

【第 3 号議案】　　2019 年度　会計監査、業務監査報告

（外部監査：西川京子公認会計士、中村英作氏）

2019 年度の事業執行状況及び決算関係書類について、監査いたしましたところ

いずれも正当・妥当に処理されていました。

2020 年 4 月 25 日

会計監査　西川京子 ㊞

業務監査　中村英作 ㊞

【第３号議案】　　壇税理士

第２号議案と正味財産増減計算書との調整表

（単位：円）

収入の部	19,867,528
通帳間移動	△3,837,071
正味財産増減計算書	
経常収益計	16,030,457

支出の部	18,980,392
源泉所得税	44,005
源泉所得税納付	△44,005
通帳間移動	△3,837,071
正味財産増減計算書	
経常費用計	15,143,321

※この調整表で収入と収益、支出と費用の違いを検証した結果
第２号議案と正味財産増減計算書の一致が確認されました

一般社団法人日本ドラゴンボート協会　　注記表

平成31年4月1日から
令和2年3月31日まで

受取民間助成金13,402,571円の内訳は以下の通り

日本ドラゴンボート協会大会参加料	5,822,571
日本スポーツ振興センター基金助成金	3,740,000
産業経済新聞社協賛金	3,840,000

以上

第１１期

財　務　諸　表

自：平成31年 4月 1日

至：令和 2年 3月31日

〒556-8663
大阪市浪速区湊町２－１－５７
サンスポ事業部内

一般社団法人日本ドラゴンボート協会

理事長　長谷川　伸

法　人　名：一般社団法人日本ドラゴンボート協会

貸借対照表

令和　2年　3月 31日 現在　　（単位：円）

科　　目	当　年　度	前　年　度	増　　減
Ⅰ　資産の部			
1.　流動資産			
現金預金	2,918,281	2,031,145	887,136
流動資産合計	2,918,281	2,031,145	887,136
2.　固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3) その他固定資産			
什器備品	1	1	0
船舶	8	8	0
その他固定資産合計	9	9	0
固定資産合計	9	9	0
資産合計	2,918,290	2,031,154	887,136
Ⅱ　負債の部			
1.　流動負債			
預り金	9,189	9,189	0
仮受金	100	100	0
流動負債合計	9,289	9,289	0
2.　固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	9,289	9,289	0
Ⅲ　正味財産の部			
1.　指定正味財産			
2.　一般正味財産	2,909,001	2,021,865	887,136
正味財産合計	2,909,001	2,021,865	887,136
負債及び正味財産合計	2,918,290	2,031,154	887,136

法　人　名：一般社団法人日本ドラゴンボート協会

正味財産増減計算書

平成 31年　4月　1日 から令和　2年　3月 31日 まで　　（単位：円）

科　　目	当　年　度	前　年　度	増　　減
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
1.　経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
正会員受取会費	2,617,500	2,475,401	142,099
受取補助金等			
受取民間助成金	13,402,571	12,148,400	1,254,171
雑収益			
受取利息	26	21	5
雑収益	10,360	1,121,085	△1,110,725
雑収益計	10,386	1,121,106	△1,110,720
経常収益計	16,030,457	15,744,907	285,550
(2) 経常費用			
事業費			
旅費交通費	458,395	623,428	△165,033
通信運搬費	133,920	133,920	0
減価償却費	0	379,589	△379,589
消耗什器備品費	262,901	222,897	40,004
消耗品費	142,716	156,855	△14,139
修繕費	26,398	34,970	△8,572
印刷製本費	149,040	149,040	0
光熱水料費	307,851	312,277	△4,426
賃借料	302,876	336,560	△33,684
保険料	199,480	212,440	△12,960
支払負担金	453,000	1,478,156	△1,025,156
支払寄付金	150,000	150,000	0
委託費	10,621,590	9,802,901	818,689
雑費	844,045	911,116	△67,071
事業費計	14,052,212	14,904,149	△851,937
管理費			
交際費	0	29,000	△29,000
旅費交通費	84,000	0	84,000
通信運搬費	0	10,912	△10,912
消耗什器備品費	14,724	45,720	△30,996
消耗品費	2,972	4,766	△1,794
賃借料	0	54,700	△54,700
租税公課	72,966	71,650	1,316
支払負担金	31,648	68,057	△36,409
委託費	393,665	320,000	73,665
雑費	491,134	333,572	157,562
管理費計	1,091,109	938,377	152,732
経常費用計	15,143,321	15,842,526	△699,205
評価損益等調整前当期経常増減額	887,136	△97,619	984,755
当期経常増減額	887,136	△97,619	984,755
2.　経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	887,136	△97,619	984,755
当期一般正味財産増減額	887,136	△97,619	984,755

科　　目	当　年　度	前　年　度	増　　減
一般正味財産期首残高	2,021,865	2,119,484	△97,619
一般正味財産期末残高	2,909,001	2,021,865	887,136
Ⅱ　指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ　正味財産期末残高	2,909,001	2,021,865	887,136

△

2. 4.23
(17:16)
P- 1

科目別減価償却資産確認表

平成31年 4月 1日～令和 2年 3月31日

（単位：円）

固定資産コード 名称	使用開始年月日 処分年月日	取得価額	期首帳簿価額	償却方法 償却基礎金額	耐用年数 償却率	償却 期間	残存簿価(残価保証額) 償却可能限度額	減価償却費 事業費	管理費	経常外費用	減損損失額 過年度未償却額	当期償却額	償却累計額	期末帳簿価額	処分時帳簿価額 処分価額
【1224 什器備品】															
0000000004 ハイスピードカメラ	H26. 7.24	3,012,611	1	200%定率法 1	5年 0.400	12/12	1円	0	0			0	3,012,610	1	
勘定科目合計		3,012,611	1					0	0	0	0	0	3,012,610	1	
【1226 船舶】															
0000000001 BUK艇	H22. 7. 1	2,553,675	3	250%定率法 3	5年 0.500	12/12	3円	0	0			0	2,553,672	3	
0000000002 チャンピオン艇	H24. 6.28	1,485,296	3	200%定率法 3	5年 0.400	12/12	3円	0	0			0	1,485,293	3	
0000000003 チャンピオン艇	H25. 6.18	1,065,376	2	200%定率法 2	5年 0.400	12/12	2円	0	0			0	1,065,374	2	
勘定科目合計		5,104,347	8					0	0	0	0	0	5,104,339	8	

（注）勘定科目が登録されていない減価償却資産は表示されません。

【第４号議案】

2020年度予算　　事務局

2020度一般社団法人日本ドラゴンボート協会予算
（2020年４月１日から2021年３月末まで）

１．収入の部

収入項目	2019 年度決算	2020 年度予算	増　減	内　訳
1．会費（登録料）	1，052，000－	0	－	A個人A・B団体会費、都道府県会費
2．検定料	265，500－	0	＋	パドル検定
3．主管料	1，300，000－	0	－	,堺泉北、びわ湖、東京、
4．JDBA HP 広告料	1，680，000－	0	－	協会 HP バナーのｻﾝｽﾎﾟ広告掲載料
5．チーム役員寄付	0	0	0	
6．日本選手権ﾄﾞｰﾋﾟﾝｸﾞ助成	0-	0	＋	くじ助成金 日本選手大会
7．日本選手権運営費助成金	3，740，000－	0	－	toto 大会助成金 日本ｽﾎﾟｰﾂ振興センターより
8．日本選手権参加料・協賛金	7，982，571－	0	＋	参加料 協賛金：大王製紙
9．立替金返金	1，877，071－	0	＋	JDBA 本体通帳より
10 借入金（基金通帳）	1，960，000－	0	－	JDBA 本体通帳より借入
11,借入金（ﾄﾞｰﾋﾟﾝｸﾞ通帳）	0	0	－	JDBA 本体通帳より借入
12,借入金	0	0	＋	谷事務局長より借入
13,寄付	10,386	0	＋	理事役員
小計	19，867，528－	0	－	
前期繰越金	2，031，145－	2，918，281－	＋	2019 年通帳残金
合計	21，898，673－	2，918，281－	－	

2. 支出の部

支出項目	2019 年度決算	2020 年度予算	増　減	内　訳
1. 会費,IDBF 登録費	150, 648	150, 000－	－	IDBF 、JADA 会費等
2. 旅費	221, 875－	100, 000－	－	役員交通費
国内旅費				国内役員
3. 事務所費	1, 074, 660－	700, 000－	＋	HP管理、会計処理費など
4. 通信費 郵券	17, 835－	15, 000－	－	振込手数料
5. 会場借上	0－	0－	＋	総会会場等
6. 消耗品費 ボート修理費	16, 183	0－	－	JDBA ボート修理費
7. 会議費	10, 215－	0－	＋	天神大会来賓食事代など
8. 地方協会分配金	614, 850－	0－	－	
9. ハイスピードカメラ返済金	0－	0		27年7月まで
10. 5艇保管料	817, 500－	817, 500－	0	5艇大阪南港保管
11. 選手強化費	314, 048－	200, 000－	＋	アジア選手権
12、立替金返金①	0－	0－	0	事務局長立替金
13、	0－	0－	－	JADA
14、立替金返金②	1, 960, 000－	0－	－	JDBA 通帳から toto 専用通帳に貸出
15、日本選手権大会経費	13, 682, 577－	0－	－	
16、海外大会派遣役員補助費	100, 000－	100, 000－	＋	国際委員会
小計		2, 082, 500	－	
17予備費	0	835, 781		
合計	18, 980, 392－	2, 918, 281－	－	

【第 5 号議案】

天神祭奉納　2019年日本ドラゴンボート選手権大会収支明細

※本大会は、独立行政法人日本スポーツ振興センターから toto の基金助成を得て運営しています。

1	参加料収入	20 人漕ぎ、10 人漕ぎ	5, 822, 571－
2	toto 大会運営助成金	独立行政法人日本スポーツ振興センター	3, 746, 000－
3	協賛金	大阪製紙、大会ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ広告費	2, 160, 000－
4	借入金	JDBA 本体通帳より借入（天神大会費用）	1, 960, 000－
5	雑収入	普通預金利息	6
	収入合計（税込）		13, 688, 577－

（税込）

1	施設費	陸上施設、水上施設、音響設備費	5, 976, 000－
2	製作費	大会ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ製作費	149, 040－
3	資材費	参加者用ﾄﾞﾘﾝｸ購入代	0－　ｻﾝｽﾎﾟから寄付
4	使用料	会議室、桟橋、公園、警戒艇使用料	1, 109, 911－
5	運送費	資材運送費	133, 920－
6	人件費	実況、司会料 2 人分	70, 000-
7	警備費	会場警備員費	325, 782-
8	ゴミ処理費	南天満公園ゴミ処理	129, 600－
9	主管料	大阪府ドラゴンボート協会	150, 000-
10	広告宣伝費、大会運営費	サンケイスポーツ	2, 200, 000－
11	宿泊交通費	役員宿泊、役員交通費	212, 520－
12	会費	大阪水上安全協会賛助金	24, 000－
13	打合せ費	協賛社食事代	50, 885－
14	事務所費	役員弁当代、初穂料、氷代、表彰品	958, 708－
15	保険代	傷害保険他	199, 480－
16	郵券	振込料	11, 412－
17	立替金	サンスポ立替金　謝礼金、資材購入費	943, 768－
18	借入金戻し金	JDBA本体通帳へ（大会運営費）	1, 960, 000－
	支出合計（税込）		13, 765, 506－

【第 6 号議案 】　　2020年度関連大会計画

2020 年　JDBA　関連大会日程（予定）　　4/30 現在

（2020 年度）

【国内大会】

4 月 26 日（日）　宇治源平龍舟祭（京都宇治市）⇒10月11日に延期予定

5 月 3 日（祝）　いさドラゴンカップ2020（鹿児島県伊佐市）⇒延期予定

5 月 17 日（日）　東京ドラゴンボート大会2020（東京江東区豊洲・春海橋公園）：主管
⇒中止

6 月 17 日（日）　第 10 回堺泉北港スモールドラゴンボート大会（大阪・高石市）：主管
⇒中止

7 月 12 日（日）　天神祭奉納 2020 日本国際ドラゴンボート選手権大会（大阪市）：主催
⇒中止

8 月 23 日（日 ）　第 15 回びわ湖ドラゴンキッズ選手権大会（滋賀県）：後援

8 月 23 日（日）　第 17 回KIX国際交流ドラゴンボート大会（泉佐野市）：主催
⇒中止

9 月 13 日(日)　第 8 回スモールドラゴンボート日本選手権大会（滋賀）主管

10 月 4 日（日）　第 14 回びわ湖 1000m 選手権大会＆
第 9 回ドラゴンボート・グランドシニア大会

◇10 月 11 日（日）　宇治源平龍舟祭（京都・宇治市）

◇10月中旬予定　静岡ドラゴンボート大会第 10 回ツナカップ（直線 150 メートル）

【国際大会】

(2020 年)11 月　第 14 回 ADBF アジアドラゴンボート選手権（香港）
第 12 回 Club Crew World Championships, 2020（フランス）

(2020 年)11/26-12/5　アジアビーチゲームズ（中国・海南省三亜市）：JOC 派遣
※Olympic Council of Asia (OCA)から IDBF 会長のマイク・トーマスに宛てて、ドラゴンボート競技が正式種目として承認されたこと、ドラゴンボート競技は IDBF.ADBF の管理下（主管）で行われることの報告あり(3/3)。

(2021 年) 5/29-30　第 10 回 KANSAI WORLD MASTERS GAMES 2021：ドラゴンボート競技（滋賀）

(2021 年)　第 15 回 World Dragon Boat Championships, 2021：（香港）

(2021 年)　第 2 回アジアクラブクルー選手権（タイ・パタヤビーチ）

(2022 年)9/10-25　第 19 回アジア競技会（中国・杭州市）：JOC 派遣

【第7号議案】　　各専門員会報告

審判委員会　2019年度活動実績と2020年度活動計画

審判委員会　川北尚勝

1. 2019年度活動計画 vs.実績

★ 活動計画 1. 審判員資格取得の推進と取得後のフォロー　2. 昇級認定の推進

【実績】（下記の人数は年間合計）

① 上級への昇級認定

・なし

② A 級への昇級認定

・通常昇級（東京都協会）：4 名　・特別昇級（C 級から）（日本協会）：1 名

③ B 級への昇級認定

・大阪府協会：4名、 東京都協会：5名

④ JDBA HP 審判資格者リストの改定

⑤ 上記の昇級認定、下記（参考 1）の新たな C 級認定、および（参考 3）の国際審判資格保持に基づきリストを改定

（参考1） C 級新規取得者（都道府県協会認定）

・大阪府協会：3 名、 東京都協会：1 名、 日本協会：2 名

（参考2） 国際審判資格新規昇級（IDBF 認定・JDBA 国際委員会管轄）

・なし（新コロナウイルス感染の蔓延により国際審判講習会が中止のため）

（参考 3） 審判資格者の級別合計人数（2019 度末現在）

・上級 70 名、 A 級 20 名、 B 級 47名、 C 級 138 名、 計 275 名

★ 活動計画 3. 審判員認定講習会テキストおよび試験問題の改定

【実績】テキスト及び試験問題の見直しを行ったが、特に新たな変更・改定を要する点や懸案事項はなく、変更・改定は行わなかった

★ 活動計画 4. その他

【実績】国際審判員資格取得講習会受講・認定試験受験の要件として、最低でも JDBA 審判資格 C 級の認定を受けていること、ということが決まったが、成文化するところまではいかなかった。

2. 2020年度活動計画

(1) 審判員資格取得の推進と取得後のフォロー

(2) 昇級認定の推進

(3) 審判員認定講習会テキストおよび試験問題の改定（必要に応じて）

(4) その他

以上

国際委員会・2019年度活動報告

（2020年4月10日）

報告者：森永　裕幸

1. 海外からの問い合わせに対する対応

海外チームからJDBAのホームページ経由で国内開催される大会への問い合わせや情報提供依頼があり、海外チームが国内大会に参加される場合、1チーム当たり20～50回近くメールのやりとりを国際委員会が行いました。経過として、1月初旬から問い合わせが始まり、3月になると申し込みの要望が届く状況です。特に、5月の東京大会、7月の日本選手権大会、8月のKIXドラゴンボート大会、そして9月の琵琶湖スモールドラゴンボート選手権大会に人気がありました。

2. 大会関係報告

第14回IDBF世界ドラゴンボート選手権大会（タイ・パタヤ）8月21日～25日

レース結果：https://idbfchamps.org/2019tha/mobile

JDBAから審判として、菖蒲誠氏は、Chief Official、森永は、Assistant Chief Umpierとして大会運営に関わりました。

なお、

大会報告は、JDBAのホームページ［おしらせ］ 2019年9月25日掲載

アルバムは、［おしらせ］ 2019年10月7日掲載

3. ADBF理事会・臨時総会（タイ・パタヤ）8月世界選手権

理事会・臨時総会において、5つの分科会の責任者とJDBAからのメンバーが決定しました。

■Technical Committee（技術委員会）

Chair person Peter Tang（マカオ）　　松尾さん（国際委員会）

■Competition Committee（競技委員会）

Chair person Chang Chao-Hung（中華台北）　Vice-Chairman 森永（国際委員会）

■Equipment Committee（器具委員会）

Chair person 菖蒲さん（副理事長）　　楡木さん（強化委員会）

■Promotion & Development（普及委員会）

Chair person Yu Hanqiao（中国）　　野尻さん（国際委員会）

■Youth Committee（青少年委員会）

Chair person Hung Chi-lok, Arnold（香港）

4. 今後の主なドラゴンボート競技大会

2020年11月：第14回アジアドラゴンボート選手権大会（香港）
2020年 11月：Asian Beach Games （中国・海南省・三亜市）
2021年　　：第15回世界ドラゴンボート選手権大会（香港）
2022年9月　：第19回アジア競技大会（中国・浙江省・温州市）
2022年　　：第13回世界クラブカップ選手権大会（Sarasota city,USA）
2023年　　：第16回世界ドラゴンボート選手権大会（Seville, Spain）

※2020年8月　：第12回クラブ・クルー世界選手権大会（フランス）中止

4. その他

①国際審判員の普及

日本ドラゴンボート協会には現在30名の国際審判員資格保持者がいます。その中で海外の大会運営に関わっているのは国際委員会の一部のメンバーのみというのが現状です。国際審判員を日本において普及することは、今後開催予定のマスターゲームズなど国内における国際大会に対応できるとともに、国際選手権レベルの大会で審判経験をしていただくことは安定した国内大会の競技運営にもつながると考えています。皆様のご理解とご協力をお願いします。

②新型コロナウイルスに関する対応

IDBFは本年8月フランスで開催予定のCCWC（世界クラブカップ選手大会）の中止を3月末に決定し、海外諸国においては、本年前期の大会を中止するなど、感染拡大防止の対応を行っています。

3月中旬、IDBFから責任者を招聘してIDBF審判員講習会を東京・大津市で開催予定でしたが、感染拡大を避けるため延期することとしました。今後の状況を見ながら事務局や関係の皆様と調整・対応したいと考えています。

以上

科学技術委員会の19年度振り返りと20年度方針

報告者：後藤幸弘・田中譲

2019年度

(1) 2019年度の日本選手権における速度・ピッチ・ストローク長の関係をGPSシステムを用いて検討した。

①250mレースにおけるタイムと最高速度との間には、非常に高い相関関係がみられた。春合宿における1人漕ぎにおける50mタイムと最高速度の相関関係も高かったため、最高速度の高い選手ほど、技術が高いと判断できると推察された。

②男女混合選手権において、最高速度が最も高かったのは、記録3位のINO-G(4.99m/s)であった。なお優勝した東京龍舟の最高速度は、4.91m/sであった。

両チームの速度経過パターンをみると、東京龍舟は加速区間を終えてから高い速度を維持していた。これに対し、INO-Gは速度にバラつきがみられ200m地点以降で速度を低下させてゴールしていた。すなわち、加速区間を終えてから安定して速度を維持することの重要性が示唆された。

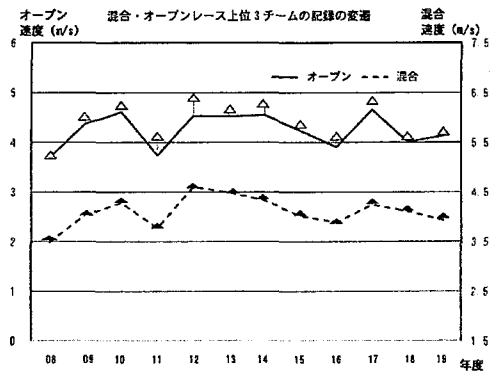
なお、両チームの平均ピッチ数は、東京龍舟:94.26s/m、INO-G:79.80s/mであった。

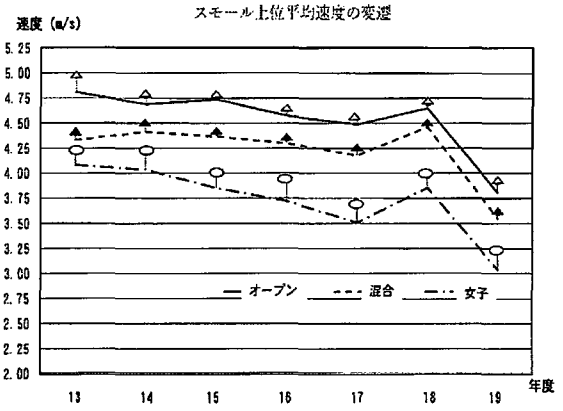
③春合宿における1人漕ぎで速度のバラつきがみられた石黒（平均ピッチ数：78.87s/m）と同様に、INO-Gにも速度のバラつきがみられたため、平均ピッチ数と速度のバラつきについては今後さらに調査が必要と考えられる。

(2)「ドラゴンボートの科学」作成のための資料の収集と若干の整理を行った。

(3) オープン・混合の決勝進出上位チームの平均速度の年次経過をまとめ、競技力の変遷を検討した（図参照）。また、スタンダード艇を10人のパドラーで漕ぐスモールとオープンの記録比は、5年間の平均で82.7±6.6%であることを明らかにした。

(4) スモールドラゴンボート日本選手権の決勝進出チームの平均速度の年次経過をまとめ、競技力の変遷を検討した（図参照）。





2020年度方針

①2019 年度に引き継ぎ、日本選手権における速度・ピッチ・ストローク長の関係を検討するとともに、スモールドラゴンボート日本選手権における速度・ピッチ・ストローク長の関係を GPS システムを用いて検討する。
②強化委員会と協力し、代表選抜会に参加する選手の身体特性を調査・測定する。
③2019 年に引き続き、「ドラゴンボートの科学」作成に向けてドラゴンボートに関する研究資料の収集・調査を行う。
④200m・500m に距離での競技直後の血中乳酸値の消長を測定する。

【第5号議案】

第15回 IDBF 世界ドラゴンボート選手権選考会について

競技委員長

2021 年に開催予定の第 15 回 IDBF 世界ドラゴンボート選手権の代表選考は、スタンダードは、5月の東京大会予選会、日本選手権大会最終選考会とも中止となったため、次年度の世界選手権のメンバーについては、JDBA強化委員会に一任とし、スモール代表はびわこスモール選手権が実施された場合は、本大会を選考会として行います。

【その他】

2020年度ご寄付について

コロナ禍で大会がほぼ中止の為、JDBAの収入は現段階では非常に厳しいため、役員、理事にご寄付をお願いする。

以上

令和2年社員総会議事録

定時社員総会議事録

１．日　　時：令和２年５月３１日午後2時
２．場　　所：大阪市浪速区港町二丁目１番５７号
　　株式会社産業経済新聞社大阪本社
３．出 席 者（承諾者）：議決権のある社員総数　　９１名
　　総社員の議決権の数　　９１個
　　資料承諾社員総数（委任状出席を含む）　　６９名
　　この議決権の総数　　６９個
４．議長理事：　長谷川　伸
５．出席理事：　櫻井　顕一、菖蒲　　誠、　谷　　達也、山崎　裕司

以上のとおり社員の出席があったので、定款の規定により、代表理事長谷川伸は、議長席につき、本定時総会は適法に成立したので、開会する旨を宣し、直ちに議事に入った。

第１号議案　2019年度事業報告及び2019年度JDBA登録チームの件
　議長は、2019年度の事業報告及び2018年度JDBA登録チームの報告を行った。

第２号議案　2019年度決算報告の件
　事務局長は、2019年度の決算報告を述べ、一同に諮ったところ、全員一致の賛同を得た。

第３号議案　2019年度会計報告・会計監査・業務監査の件
　監事西川京子より会計監査、監事中村英作より業務監査につき、適正な処理が行われている旨の報告が書面にて行われた。
　壇税理士より正味財産増減計算書及び調整表の説明があった。

第４号議案　2020年度予算の件
　2020年度の予算計画を述べ、一同に諮ったところ、全員一致の賛同を得た。

第５号議案　2019年日本国際ドラゴンボート選手権収支
　事務局長は、2019年日本国際ドラゴンボート選手権収支明細ついて報告した。

第6号議案　2020年度事業計画・大会日程の件
　議長より2020年度の事業計画と大会日程が報告された。

第7号議案　2019年度各専門委員会報告と2020年度事業方針の件
　議長より2018年度の事業報告と2019年度事業方針が報告された。続いて、菖蒲理事より2021年第15回IDBF世界ドラゴンボート選手権大会について、説明がなされた。

6．閉　会：議長は午後４時３０分閉会を宣言した。

以上の決議を明確にするため、本議事録を作成する。

令和２年5月31日

一般社団法人日本ドラゴンボート協会第10回定時社員総会

議長代表理事　長谷川　伸